



岩手県 陸前高田市 宮城県 石巻市 福島県 南相馬市

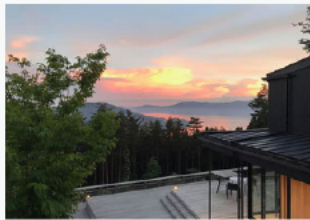


また逢いに行く東北へ

「Re:来人」は「被災地と関係性を保ちながら定期的に訪問する層を増やし、被災地に再び希望の光を灯す」という意味を含め「relight」と掛け合わせた造語で、東北における関係人口増加プロジェクトの愛称です。被災地の課題解決や仕事を通じた関係性を保ちながら定期的に訪問する層（関係人口）の創出を目的として、ワークショップならびにツアーを通じて、地域社会の課題解決をめざしていきます。

～活動対象 エリア～

岩手県 陸前高田市



18000人の街だからできる
「高田の暮らし」
一復興の先にある新たな仕事と働き方

三陸海岸のうち陸前海岸北部の中核を成す岩手県陸前高田市。東日本大震災では、松の高木が津波に削れて残り「奇跡の一本松」として全国的に注目を受けました。震災から6年、今秋「高田松原津波復興記念公園」が陸前高田市内にオープン。まちのなかでは、「ポシティブな過剰地を創る！」を合言葉に、「榴根山テラス」を運営する民間企業や年間1,000名以上の若者を誘客するNPOが運営し、多くの移住者やチャレンジを生み出しています。高田で暮らすリアル、震災後に生まれた新しい仕事や取り組みに出会ってみませんか。

東京開催ワークショップ

会場：フジクライノバージョンハブ
(東京都江東区木場1-1-1)
日時：2019年12月16日 18:30～21:00

岩手県 陸前高田市 被災地見学会

日程：2020年1月11日～12日
会場：グローバルキャンパス

※応募者多数の場合抽選とさせていただきます
※「東京でのワークショップのみ」「岩手県での被災地見学会のみ」のお申し込みも可能です。

宮城県 石巻市



日本一働きやすい魚の町、石巻
一水産業の新たな関わり方考える一

宮城県内第二の人口を擁する宮城県石巻市。漁場に近い石巻市は全国でも有数の水産都市となっています。東日本大震災では水産業が大きな被害を受け、若手漁師や移住者たちが立ち上がりました。これまで水産業における「新3K」(カッコいい、稼げる、革新的)を目指し、PRや商品開発・マーケティングの革新など国内でも先進的な取り組みを実行。現在は、働き手のエンゲージメント向上や副業による人材獲得といった「働きやすさ」に対して挑戦中です。日本一働きやすい魚の町、石巻の可能性に出会い、水産業の未来について考えてみませんか。

東京開催ワークショップ

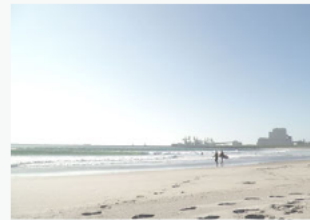
会場：スマートニュース株式会社
(東京都渋谷区神宮前6丁目)
日時：2019年11月19日 18:30～21:00

宮城県 石巻市 被災地見学会

日程：2019年11月30日～12月1日
会場：グランドホテル石巻 会議室

※応募者多数の場合抽選とさせていただきます
※「東京でのワークショップのみ」「宮城県での被災地見学会のみ」のお申し込みも可能です。

福島県 南相馬市



起業プラットフォームから生み出す
南相馬の未来 — 地域の100の課題から
100のビジネスを生み出す —

福島県浜通りに所在する南相馬市。国の重要無形民俗文化財に指定されている相馬野馬追始め、夏になるとサーフィンの世界大会が開催されることで有名です。東日本大震災後、南相馬市小高区では福島第一原子力発電所の事故により5年4か月もの間、居住が許されない避難指示区域となりました。一方で、ゼロの状態から町を興していくという課題をチャンスと捉え、「小高フーズベース」を中心に多様なビジネスが生まれています。予測不能な未来に対し、自ら切り開く移住者や地域住民と出会い、南相馬の可能性を感じてみませんか。

東京開催ワークショップ

会場：フジクライノバージョンハブ
(東京都江東区木場1-1-1)
日時：2019年12月9日 18:30～21:00

福島県 南相馬市 被災地見学会

日程：2019年12月14日～15日
会場：小高交流センター

※応募者多数の場合抽選とさせていただきます
※「東京でのワークショップのみ」「福島県での被災地見学会のみ」のお申し込みも可能です。

～ Re:来人へのおもい～

Re:来人では、事前にワークショップを設けることで、活動している人の「想い」をはじめに知ってもらおうことを大切にしています。それから、実際の現場を体感し、地域と交流することで、その「想い」に深く共感してもらいたい。それを通して、みなさまが地域と途切れることのないつながりを持ち帰ってもらおうことを目指しています。すべてのワークショップの参加費、及びツアーの参加費と宿泊費は無料です。集合場所までの交通費はご負担ください。※応募者多数の場合抽選とさせていただきます。
※「東京でのワークショップのみ」「各県での被災地見学会のみ」のお申し込みも可能です。



また逢いに行く東北へ

ワークショップ

ツアー



想いを知る

&

つながりを
紡ぐ



岩手県 陸前高田市 18000人の街だからできる「高田の暮らし」―復興の先にある新たな仕事と働き方―



18000人の街だからできる「高田の暮らし」

―復興の先にある新たな仕事と働き方―

三陸海岸のうち陸前海岸北部の中核を成す岩手県陸前高田市。東日本大震災では、松の高木が津波に耐えて残り「奇跡の一本松」として全国的に注目を受けました。震災から8年、今秋「高田松原津波復興祈念公園」が陸前高田市内にオープン。まちのなかでは、「ポジティブな過疎地を創る！」を合言葉に、「箱根山テラス」を運営する民間企業や年間1,000名以上の若者を誘客するNPOが連携し、多くの移住者やチャレンジを生み出しています。高田で暮らすリアル、震災後に生まれた新しい仕事や取り組みに出会ってみませんか。

東京開催ワークショップ

日時：2019年12月16日 18:30～21:00

会場：フジクラインノベーションハブ
(東京都江東区木場1-1-1 フジクラ東京R&Dセンター7階)
応募締め切り：2019年12月13日

【ワークショップタイムテーブル】

18:30 開会あいさつ

18:35 Re:来人の概要説明

18:45 キーノート

- ・『ポジティブな過疎地域をつくる。18000人の街だからできる高田の暮らし』(仮)
スピーカー：NPO法人 高田尊舎 理事長 岡本 翔馬氏
- ・『"ライフ"持続可能な社会を創る。デザイン力で笑みの溢れる陸前高田を。』(仮)
スピーカー：株式会社長谷川建設 代表取締役社長 長谷川 順一氏
- ・『イチゴで新規産業地域の活性化の起爆剤に！
～住民みんなが幸せに～』
スピーカー：株式会社リアスターファーム 代表取締役 太田 祐樹氏

19:50 セッション「陸前高田との関わり方を探る！」(仮)

20:40 ツアー詳細の紹介

20:55 閉会メッセージ



被災地見学【岩手県陸前高田市周辺】

期日：2020年1月11日～12日

訪問予定先：特定非営利活動法人高田尊舎

：長谷川建設株式会社等

集合場所：岩手県一ノ関駅東口駅前広場付近

集合時間：2020年1月11日 10:20

解散時間：2020年1月12日 16:30 (予定)

申込期日：2020年1月6日まで

被災地見学【岩手県陸前高田市周辺】詳細スケジュール案

～2020年1月11日(土)～

10:20 一ノ関駅東口駅前広場付近 集合

12:00 りくカフェ 昼食

13:30 高田尊舎 被災地視察

14:30 高田尊舎 講演

15:00 移住者トークセッション

16:30 長谷川建設 見学

18:30 陸前高田地域の人と交流会 @ 食堂カフェ仙華園

～2020年1月12日(日)～

09:15 宿泊先 出発

09:30 ワークショップ「自分と陸前高田の関わりしるを考える」

12:45 昼食@陸前高田中心街

16:30 一ノ関駅西口駅前広場付近 解散

※天候や道路状況により行程は変更の可能性があります。



～お申し込み～

ワークショップの参加費、及びツアーの参加費と宿泊費は無料です。
 集合場所までの交通費はご負担ください。
 本ツアー中の食費および地域の方との懇親会費に関しては、参加者各位での
 実費負担となります（2日目朝食を除く）。
 「東京でのワークショップのみ」「岩手県での被災地見学会のみ」のお申し
 込みも可能です
 ※応募者多数の場合抽選とさせていただきます

東京開催 ワークショップ

会場 フジクライノベーション
 （東京都江東区木場1-1-1 フジクラ東京R&Dセンター7階）
 日程 2019年12月16日

岩手県 陸前高田市 被災地見学会

日程：2020年1月11日～12日
 会場：グローバルキャンパス



【さかな好き集まれ！】 宿泊費・参加費無料・グループ参加OK☆ツアーに参加して石巻のクールな漁業者たちと繋がろう！

魚好き
集まれ！！

参加費無料
宿泊費無料
グループ参加OK

宮城県水産業ツアー開催
2019.11.30-12.1



【さかな好き集まれ！】

宿泊費・参加費無料・グループ参加OK☆ツアーに参加して石巻のクールな漁業者たちと繋がろう！

宮城県石巻市。

漁場に近い石巻市は全国でも有数の水産都市となっています。

この街では移住者や若手クリエイター達によって、水産業の“新3K”（カッコいい、稼げる、革新的）を目指し、様々なプロモーションで漁師達をクールで憧れの存在へと導いています。革新的な企画とデザインで仕掛けていく「一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン」が皆さんをご案内。クールな漁師たちが獲った魚を、最新の技術によって抜群の新鮮さを保ち、日本そして世界へと販路を広げる加工場の見学もします。

このツアーの目的はひとつ「石巻人と仲良くなる！」

美味しい魚を食べて、この町でクールな人々と出会い、企画・デザイン・技術の視点から水産業の未来と一緒に見てみませんか？



東京開催ワークショップ

日 時：2019年11月19日 18:30～21:00

会 場：スマートニュース

(東京都渋谷区神宮前6丁目25-16 いちご神宮前ビル 2F)

応募締め切り：2019年11月18日

【ワークショップタイムテーブル】

18:30 開会あいさつ

18:35 Re:来人の概要説明

18:45 キーノート

『水産業における“新3K”を創る。未来の世代が喰れる水産業を。』(仮)

スピーカー：ヤフー株式会社社会貢献事業本部/一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン事務局次長 松本裕也氏

『三陸の海から世界を革新させる。最高の品質を最良の価格で。』(仮)

スピーカー：株式会社ヤマナカ代表取締役社長 高田慎司氏

『漁師への愛をデザインに込めて、安達日向子の生き方。』(仮)

スピーカー：合同会社さかなデザイン代表 安達日向子氏

20:00 セッション「石巻との関わり方を探る！」(仮)

20:40 ツアー詳細の紹介

20:55 閉会メッセージ



被災地見学【宮城県石巻市周辺】

期 日：2019年11月30日～12月1日

訪問予定先：一般社団法人フィッシャーマンジャパン

：株式会社ヤマナカ 等

集合場所：仙台駅東口バスターミナル

集合時間：2019年11月30日 09:25

解散時間：2019年12月01日 16:00 (予定)

申込期日：2019年11月27日 17:00まで

被災地見学【宮城県石巻市周辺】 詳細スケジュール案

～2019年11月30日(土)～

- 9:25 仙台駅東口バスターミナル集合
- 9:45 移動(仙台～石巻)
- 11:00 一般社団法人フィッシャーマンジャパン講演・トークセッション
- 12:00 被災地視察・散策
- 13:00 昼食
- 14:00 移動
- 14:30 株式会社ヤマナカ取り組み紹介・工場見学
- 16:00 移動
- 16:30 有限会社ミノリフーズ取り組み紹介
- 17:30 移動
- 18:00 石巻地域の人と交流会
- 20:30 移動
- 20:45 石巻グランドホテルチェックイン(アメニティー完備！)
- 21:00 自由行動・就寝

～2019年12月1日(日)～

- 8:00 朝食
- 9:15 石巻グランドホテルチェックアウト・移動
- 9:30 ワークショップ：「自分と石巻の関わりしるを考える」(仮)
- 12:30 移動
- 12:45 昼食&お土産購入(いしのまき元気いちば 元気食堂)
- 14:15 移動(石巻～仙台)
- 16:00 仙台駅東口 解散



～お申し込み～

ワークショップの参加費、及びツアーの参加費と宿泊費は無料です。
本ツアー中の食費および地域の方との懇親会費に関しては、参加者各位での実費負担となります（2日目朝食を除く）。
集合場所までの交通費はご負担ください。
「東京でのワークショップのみ」「宮城県での被災地見学会のみ」のお申し込みも可能です。
※応募者多数の場合抽選とさせていただきます

東京開催 ワークショップ

会場 スマートニュース
(東京都渋谷区神宮前6丁目25-16 いちご神宮前ビル2F)
日程 2019年11月19日 18:30～21:00

宮城県 石巻市 被災地見学会

日程：2019年11月30日～12月1日
会場：グランドホテル石巻 会議室



福島県 南相馬市 起業プラットフォームから生み出す南相馬の未来—地域の100の課題から100のビジネスを生み出す—



・ 復興庁主催
関係人口ツアーVol.2
12.14▶15
参加費/宿泊費無料

起業プラットフォームから生み出す南相馬の未来—地域の100の課題から100のビジネスを生み出す—



福島県浜通りに所在する南相馬市。国の重要無形民俗文化財に指定されている相馬野馬追始め、夏になるとサーフィンの世界大会が開催されることで有名です。東日本大震災後、南相馬市小高区では福島第一原子力発電所の事故により5年4か月もの間、居住が許されない避難指示区域^(※1)となりました。一方で、ゼロの状態から町を興していくという課題をチャンスと捉え、「小高ワークスペース」を中心に多様なビジネスが生まれています。予測不能な未来に対し、自ら切り開く移住者や地域住民と出会い、南相馬の可能性を感じてみませんか。

(※1)避難指示区域の解除の期間参照元 <https://www.city.minamisoma.lg.jp/portal/safety/genshiryokusaisaikaiki/5034.html>

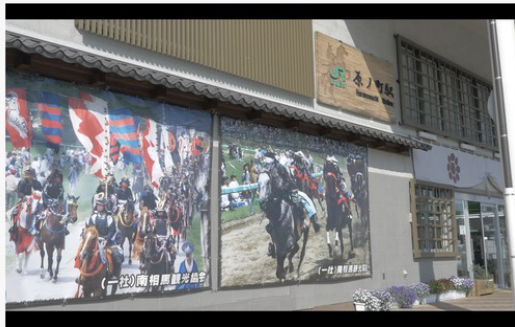
東京開催ワークショップ

「起業プラットフォームから生み出す南相馬の未来—地域の100の課題から100のビジネスを生み出す—」
日時：2019年12月9日 18:30～21:00
会場：フジクライノベーションハブ
(東京都江東区木場1-1-1 フジクラ東京R&Dセンター7階)
応募締め切り：2019年12月6日

ワークショップタイムテーブル (予定)

18:30 開会あいさつ
18:35 Re:来人の概要説明
18:45 キーノート
『ゼロから興す南相馬の可能性。地域の100の課題から100のビジネスを。』
(仮)
スピーカー：株式会社小高ワークスペース 代表取締役 和田 智行氏
『予測不能な未来を楽しもう。町の未来と次の社会のかたちを創造する。』(仮)
スピーカー：Next Commons Lab 南相馬 高田江美子氏
『南相馬に寄せるグッドウェーブ。サーフツーリズムの実現へ。』(仮)
スピーカー：SURF VILLAGE プロジェクト 船江 悠太氏
19:50 セッション「南相馬との関わり方を探る！」(仮)
20:40 ツアー詳細の紹介
20:55 閉会メッセージ





被災地見学【福島県南相馬市周辺】

期 日：2019年12月14日～15日
 訪問予定先：株式会社 小高ワーカーズベース
 ：Next Commons Lab 南相馬 等
 集合場所：仙台駅東口バスターミナル

集合時間：2019年12月14日 09:25
 解散時間：2019年12月15日 16:00 (予定)

申込期日：2019年12月10日 17時 まで

被災地見学【福島県南相馬市周辺】詳細スケジュール案

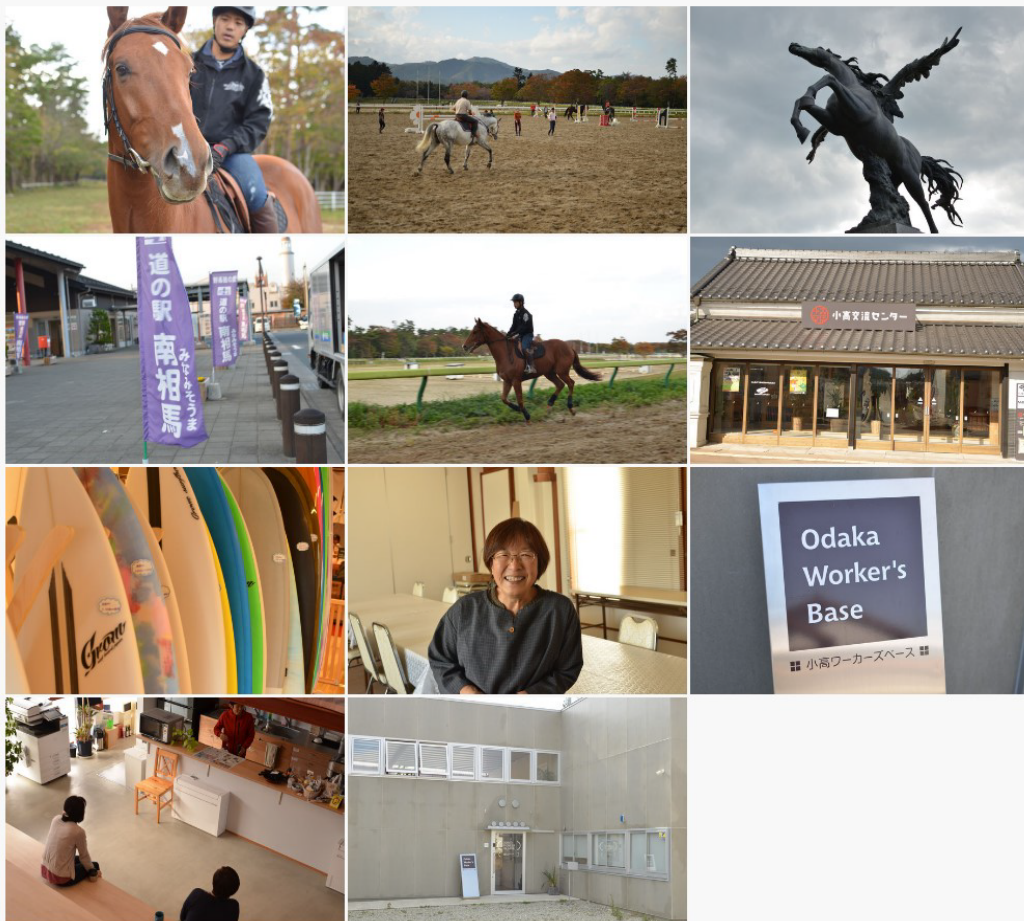
～ 2019年12月14日 (土) ～

09:25 仙台駅東口バスターミナル集合
 11:00 SURF VILLAGE プロジェクト見学
 12:00 食彩庵 昼食
 13:30 HORSE SHARING (馬事公苑) 見学
 15:00 小高ワーカーズベース 見学
 16:30 Next Commons Lab 南相馬 講演
 18:00 南相馬地域の人と交流会 @ 双葉屋旅館

～ 2019年12月15日 (日) ～

09:15 宿泊先 出発
 09:30 ワークショップ「自分と南相馬の関わりしるを考える」
 12:45 昼食@小高交流センター付近
 16:00 仙台駅東口 解散

※天候や道路状況により行程は変更の可能性があります。
 ※ワークショップのみ、ツアーのみの参加も可能です。



～お申し込み～

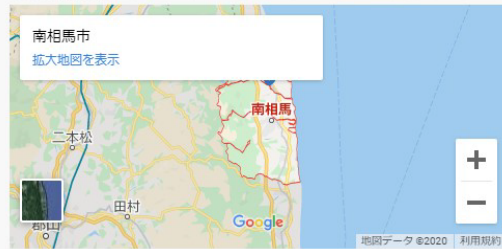
ワークショップの参加費、及びツアーの参加費と宿泊費は無料です。
集合場所までの交通費はご負担ください。
本ツアー中の食費および地域の方との懇親会費に関しては、参加者各位での
実費負担となります(2日目朝食を除く)。
「東京でのワークショップのみ」「福島県での被災地見学会のみ」のお申し
込みも可能です
※応募者多数の場合抽選とさせていただきます

東京開催 ワークショップ

会場 フジクライノベーションハブ
(東京都江東区木場1-1-1 フジクラ東京R&Dセンター7階)
日程 2019年12月9日

福島県 南相馬市 被災地見学会

日程：2019年12月14日～15日
会場：小高交流センター





2018年度に行われたツアーを、動画でご紹介します



2018年2月に行われた宮城県南三陸町でのツアーを紹介します

モノづくりを身近に！
南三陸杉からはじまる
**価値創造の
循環**



町の面積の77%を森林が占める分水嶺の町、宮城県南三陸町。
2015年、持続可能な森林経営をめざすため、FSC森林認証を取得しました。
この町は豊かな森林資源を活用した価値創造に挑戦するため、南三陸杉のブランディングに取り組んでいます。
その理想とする姿は、アナログ・デジタル両方の多彩な工作機械を用いて、個人の自由なモノづくりを可能とするネットワーク「ファブラボ」の実現です。
ご案内いただくのは、江戸時代から代々林業を営む（株）佐久さんと、木材の生産・加工・販売の全てに取り組む入谷Yes工房さん。
ツアーでは、美しく整備された森林、廃校をリノベーションした工房から生まれる新しい息吹を体感しました。



2018年3月に行われた岩手県大船渡市でのツアーを紹介します

「0から1へ」
被災跡地で挑戦する
**大船渡の
革新者たち**



世界三大漁場と言われる「三陸漁場」をかかえる岩手県大船渡市。
東日本大震災では、豊かな海産資源に恵まれたこの地も大きな被害を受けました。
あれから8年。大船渡では現地を盛り上げようとする多くのイノベーターによる、被災跡地を活用したチャレンジが次々に誕生しています。トマト栽培施設「いわて銀河農場」や三陸生まれのワイナリー「THREE PEAKS」、自転車競技BMXのコース運営。未来の大船渡を作ろうと挑むイノベーター達に出会い、彼らの情熱に感銘しました。



2018年3月に行われた 福島県只見町でのツアーを紹介します

「ねっか」を世界へ！
只見で生まれた
米焼酎の
新たな挑戦

奥会津の只見町の、日本一小さな蒸溜所。「先祖から受け継いだ自然と農業を未来へ」の思いから、米焼酎「ねっか」は生まれました。

2016年から設立準備が始まったこの焼酎は、今では国際品評会で金賞を受賞するまでに成長。フルーティーな味わいは和食全般に溶け込み、多彩な割り方を楽しむこともできます。

「和食には日本酒」のイメージを覆す魅力をもつ「ねっか」を、飲食のシーンでもっと多くの方に楽しんでもほしい。その思いを共有しました。

